

登録コード	E2442900	開講年度	2026				
授業科目	作曲・編曲法					担当教員	井田 勝大
英文授業名	Music Composition Music Arrangement					副担当	
単位数	1	講義期間	後期	曜日・時限	火曜・4時限		対象学生
講義室	教育N403			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ						
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					作曲・編曲実習を通じて音楽理論の専門的見地から学校教育に生きる指導法の理論、知識、実践の方法について習得する。	
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	この授業では、作曲するうえで必要となる対位法や楽器法を実習した後、比較的自由的な様式と語法によるオリジナルな作品を作曲することをねらいとする。また、正確な記譜法も習得する。						
(5)授業計画	第1回：ガイダンス及びDTMの基礎知識 第2回：記譜法の復習 第3回：対位法の基礎 第4回：様々なコード進行法（機能と声から） 第5回：様々なコード進行法（ジャズ・コード理論から） 第6回：短いリフの創作 第7回：リフを発展させる手法 第8回：リフを結合させた楽曲創作（作品発表1回目） 第9回：楽器法（各楽器の特性） 第10回：楽器法（楽器の使用法の実践） 第11回：DTMを使った創作演習（スコア・ノーテーションの説明） 第12回：DTMを使った創作演習（実習） 第13回：総合的作曲演習（課題及び楽器編成の設定） 第14回：総合的作曲演習（ノーテーションと途中経過のチェック）、授業の最後15分を授業アンケート実施の時間とする。 定期試験：作品発表2回目						
(6)成績評価の方法	2回の作品発表（各50％）						
(7)成績評価の基準	（ ）問題の設定が適切であり、（ ）その問題の背景を説明できており、（ ）その問題にどのような課題があるのかを指摘できており、（ ）それらの課題に対しての既存の学説が提示する解決法が適切に把握できており、（ ）その上で自分の見解を提示できており、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。（ ）から（ ）の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「水準にある」。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(8)事前事後学習の内容	毎回の授業の際に、予習しておくべきソースを指定する。質問事項は随時受け付ける。						
(9)履修上の注意	基礎的楽典事項は2年次に授業で扱うカリキュラムとなっているので、各自で必ず確認しておくこと。この授業はより発展的理論を学ぶものである。原則として「音楽理論基礎」既修者であること。教育実習における欠席分はeALPS上で補講・補習ができるよう配慮する。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	ida_katsuhiro@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	指定しない。						
【参考文献】	その都度紹介する。						